

忘・新年会の予定は？ (都道府県別)

順位	実施する企業の割合	実施しない企業の割合
1	沖縄県 78.7%	埼玉県 58.8%
2	秋田県 73.1%	千葉県 58.4%
3	大分県 70.2%	岐阜県 58.3%
	平均 54.4%	平均 45.5%

東京商工リサーチ調べ

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5月に「5類」に緩和されてから初の年末年始がやってくる。こうした中、東京商工リサーチ千葉支店（千葉市中央区）の調査で、千葉県内企業の6割近くが忘年会や新年会を実施しないことが分かった。外出自粛などによる行動制限はなくなったが、コロナ禍で加速した「忘・新年会離れ」は定着しつつあるようだ。

東京商工リサーチは今年10月、忘・新年会の開催に関し、全国の企業を対象にアンケートを実施した。有効回答

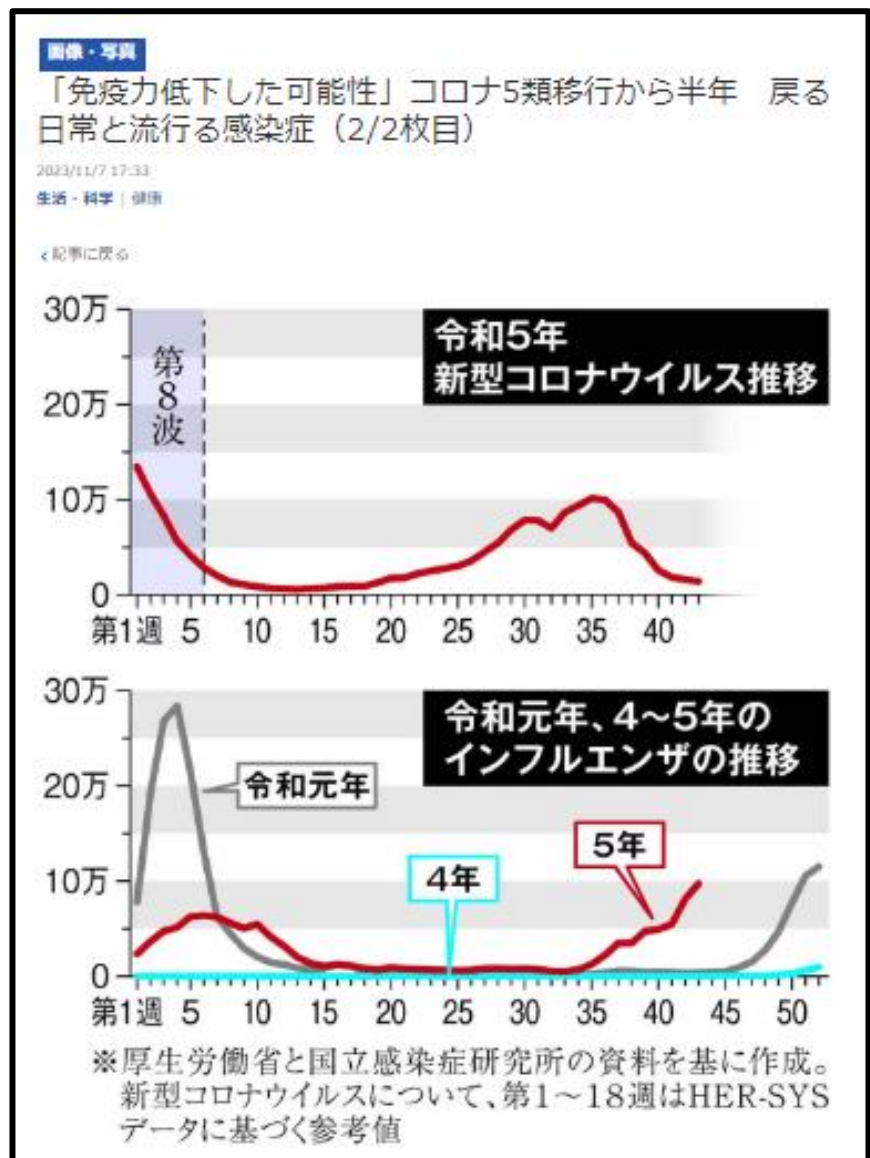
を得た全国4747社のうち同支店が県内企業122社を分析した。

その結果、「実施しない」と回答した企業の割合は58.4%となり、埼玉県（58.8%）に次いで高かった。コロナ禍の昨年と同じ時期に行った調査では60.5%が「実施しない」と回答した。忘・新年会を行うのに慎重な割合は高止まりしている。

「実施しない」を選んだ企業のうち、「コロナ禍前も今回も実施しない」は26.4%、「コロナ禍前は実施したが、今回は実施しない」は32.0%だった。

実施しない理由を尋ねたところ、「開催ニーズが高くない」が最多で、「参加に抵抗感を示す従業員が増えたため」が続いた。

「忘・新年会が労働時間にカウントされる恐れがあ



る」「在宅勤務が定着し、従業員が一堂に会す機会がない」といった理由を挙げた企業も見られた。

一方、忘・新年会を「実施する」と答えた企業は41・5%にとどまった。埼玉県（41・1%）に次いで低かった。

実施する理由を聞いたところ、その多くが「従業員の親睦」だった。

さらに、都道府県別で見ると、地域差が見られた。全国調査では沖縄、秋田、大分の3県の企業は「実施する」が7割を超えていた。なかでも、沖縄県の実施率はコロナ禍の最中でも高水準で推移している。それだけ日ごろから地域同士、仲間同士のつながりが強いことを反映しているともいえる。

逆に「実施しない」企業が多い実態が判明した千葉県の現状を、千葉支店の担当者は「同じ首都圏の東京都や神奈川県に比べ、コロナ禍後の反動がほぼ出ていない。具体的な要因を推測するのは困難だが、コロナ禍を機に忘・新年会離れは今後、加速する可能性がある」と語った。